



9月園だより



段原みみょう保育園



「自分で考え判断する力の原点」

24日(土)に開催しました夏まつりには、たくさんの方にお越しいただきありがとうございました。開催前に、保護者の方から、「きつずノートで配信された盆踊りの動画を見て、家でも踊ってるんですよ。」という嬉しいお話も伺い、当日は、盆踊りの時間になると、やぐらの周りにたくさん子どもたちが集まり、太鼓の音色に合わせてかわいい姿を見せてくれましたね。乳児組のお友だちも、お兄ちゃんお姉ちゃんを見よう見真似して踊る姿は、微笑ましく心温まる光景でした。この夏まつりを通して、園児さんはもちろん、地域の方や大きくなった卒園児さんとの出会いがあり、笑ったり、ふれあったり、子どもにとっても、大人にとっても、人と人が繋がるとても素敵な時間であったことを嬉しく思います。「子どもは、群れの中で育つ」みみょうが常に大切にしていることです。これからも、こどもをまんなかにたくさんの人と繋がりあえる園でありたいと思っています。

さて、先日2歳児クラスでのことです。「今日は、屋上に水あそびにいくよ」と担任が声をかけると、一目散に自分のプールバックを手に取り、支度を始める子どもたち。ちょっぴり難しい水着の着脱も、試行錯誤しながら一生懸命チャレンジしています。子どもが難しそうにしていると、大人はついつい先走って手助けしそうになりますが、「自分で!!」と挑戦したい気持ちを表現し、最後までやり遂げようとしていました。自分がやりたいと思ったことに向かう気持ちは、持ち物の準備や管理も、自然と意欲に繋がっていき、やりたいからこそ自分で考え試行錯誤し、最後まで取り組もうとするのです。生活習慣の自立は、乳児期の自分でやりたいと思う瞬間に、周りにいる大人がどう関わっていくかで子どもの意欲が大きく変わっていきます。出来るできないで判断してしまわず、側にいる大人が、子どもの姿に合わせて、褒めたり認めたり、見守ったりしながら、自分でやりたい気持ちをしっかりと尊重していきましょう。そして、その経験の積み重ねが、自分で考え判断する力(自立心)へと育まれていくのです。今年年長児が、1泊2日で似島にお泊り保育に行きます。お泊り保育の目的は、「いろいろな経験を通して、仲間と力を合わせてチャレンジしたり、助け合いながら自分のことは自分でし自信を持つことです。」小さな時から、培ってきた力を土台に保護者の方がいなくても、自分で出来たという自信をつけて帰ってきたいと思っています。



園長 岩槻 由紀

